

敷島新聞

本社を荒木町三千六十八番地に置き花柳界専門紙として月三回を刊す。社主藤原



氏俊重原藤

重俊氏は丹波古市の生、幼よりして才筆の譽れあり長じて吳服商に
干はりしが偶々感ずる處あり算盤を捨て、筆管を握る斯界に身を投
じ大正十年六月本紙を創刊して以て今日に及ぶ。

所謂垢抜けのしたる紙面の編輯振りと輕妙洒脫なる筆致とは溫柔の
郷に在る好事者の人氣に投じ逐日隆盛を加へて現在古市、三田、篠
山等に支局を設置するに至る。令弟謙一氏亦賢兄の事業を扶けて活

動怠りなし。

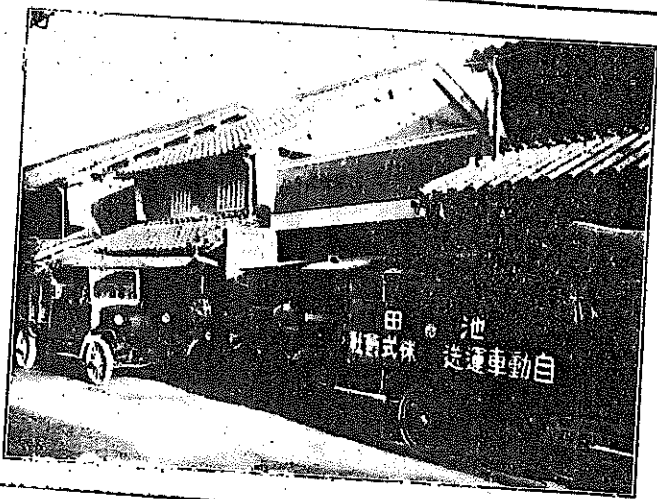
婦女之友

本社は池田本町に在り最近印刷工場を建設して發展の第一歩を印したるがもと本
誌は地方的に踰躡すべきにあらずして大大阪を舞臺に近畿・九州方面へ活躍すべく努力しつゝ
あり。婦人向きの雑誌にして内容記事の清新充實と編輯法の秀卓なる事は從來幾多の婦人雑誌
に比して勝るとも毫も遜色の迹なく今や本邦斯界の一驚異を以て目ざるゝも政ありとすべし。
社主山田初治郎氏は名古屋市商業學校の出身、專業家的才腕に富み雑誌經營難の定評ある大阪
に於いて着々成功を収めつゝある事は確に異數なりとすべきと共に非凡なる氏の識才を賞せざ
るべからざるべし 毎月一回刊行、菊判百頁以上の内容を具備す。



化粧物品
小間物
美術雜貨
池田本町
福助堂
馬場新
作

特色
顧客本位
薄利多賣
品質之撰擇



營業 大貨物 小貨物 宿替荷物 其他各種

御求に應じ何處迄も

運搬仕ります

池田自動車運送株式會社

本社 大阪府豊能郡池田本町
出張所 大阪市東區博勞町五丁目
電話船場一二五八番
出張所 大阪府豊能郡岡町

清瀧徳兵衛氏

天正の昔池城田主池田三左衛門輝國は攝津尼崎城主荒木攝津守と不和を生じ遂に兵火を交へしも三左衛門利あらず戦死し一門殘黨潰敗して離散し各最寄の縁者に落延びたり。而して其の敗軍の將三左衛門家中に義倍なる者ありき。是れ即ち當地隨一の素封家我が清瀧家の祖先にして落城後は現今豊能郡秦野村大字濊谷に隱遁し醫業の傍ら教鞭を執りて寺小屋を開き子弟の薰陶に後半生を送りたるが、其の後正徳年間に一家を擧げて當時池田村槻木町に移住し再び文化二年現在地なる本町に居を替え荒物乾物雜貨等の間屋を開業し今日に及ぶ。其の間血統連綿として當主徳兵衛氏まで十數代を経たるものにて、現に中興の祖元祿十三年唐辰十月に入寂したる自入道居士(法名)の墳墓は秦野村大字下濊谷地藏院内の塋域に在り、又當時の舊屋敷地及び前裁の手水鉢は同村穴織神社に奉納せり。當主徳兵衛氏は資性濃厚にして誠實、頗る理材の技に長ず、又謙遜の美德に富みて毫も邊幅を飾らず、店頭常に店員の間に伍して家業に勵精し其の實踐躬行的なる言動は郷黨の龜鑑として洽く敬仰の的たり池田實業銀行頭取たるの外二三銀行會社の重役を兼ね、當地財界の覇權を把握せる一方の權威者として信用、聲望共に頗る高し。嘗て町會議員其他の公職に干はりて町治公共の爲めに貢獻盡瘁したる功績亦没すべからざるものあり。



北田榮太郎氏

北田榮太郎氏は池田町字宇保に生る。明治二十五年池田北新町にて石材商を開業し後轉じて川西村に移住、劇埴川西座を新築經營して土木建築請負業を兼ぬ、氏が土木建築に關する一隻眼を有して事業完璧の上に光彩燦々たるを發揮するに至りしは將に此の頃よりの事にして、池田師範學校及び同附屬小學校の基礎工事、吳服橋の改築、川邊郡川西村出在家以北の猪名川堤防護岸工事は悉く氏の手になり、大正元年川西村小戸に鶴之莊土地經營事業を起す。當時土地熱甚だ幼稚にして世人の土地經營に對する態度頗る冷淡なりしも恒に先見の明を有する氏は萬難に撓まずして邁進し慘憺たる苦楚を嘗めて克く目的を遂げ今日既に四百坪の住宅建築を終り好評洽く事は世人の周知せる處亞いで七年十二月池田土地會社の計畫せる三萬二千坪の地を引受け目下滿壽美住宅地の經營中なるが、其の經營振りの嶄新にして卓越せるは斯界に一大驚異を以て目せられ土地經營者中の先覺者たると共に又土地發展の偉勳者として命名噴々たり。常に公共の念に厚く多額の私財を公共事業及び公共團體に寄附せるあり、將來益々氏の超凡の手腕に期禡する處多かりしに是天何ぞ無情なる暇すに天壽を以てせず本年十一月遂に白玉樓中の人となれり。今本書の纂纂に當り亦逸すべからざるの人材なりしを以て特に一箋を割く。

池田町字元新町八尾竹治郎氏は北攝地方有数の建築請負業者として令名高く信望亦敦し。明治元年三月廿八日當町に於いて呱呱の聲を擧げ先考庄之

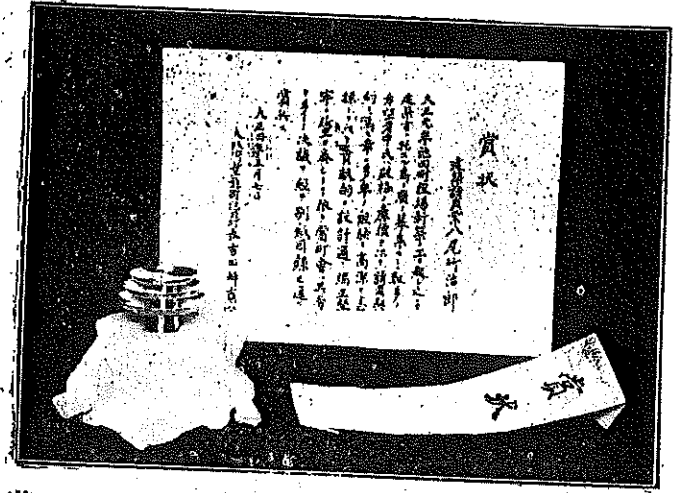


八尾竹治郎氏

助氏の嫡男として生る。弱冠にして祖業たる建築請負業を繼承し脛勉努力、以て家業の繁盛に努めよく今日の大を爲すに至れり。今や北攝地方氏の手に依りて成りたる大建築物順に尠ならず。其の輪奐の壯麗と工事の大規模とを以て誇負するに足るべき代表的建築の二三を摘録せんか、阪急電鐵經營實業少女歌劇場を始め大阪醫科大學豫科校舍、株式會社加島銀行池田支店高野製帽株式會社池田分工場、増本病院、宣眞高等女學校第二期工事、池田町役場等孰れも氏の請負ひに依りて新築

感謝狀

元池田消防組頭
八尾竹次郎
君ハ池田町消防組役員トシテ
在職二十有餘年間終始一貫
克ク其職ニ盡瘁シ功績抄カ
ラハ今回辭職ニ際シ惜別ノ
情ニ堪ハス茲ニ水杯一組ヲ
呈シ感謝ノ意ヲ表ス
大正七年一月三十一日
大阪府池田警察署長
警部金崎茂雄



され、其の他岡町以北の理想的新住宅は殆ど皆氏の造詣淺からざる才腕に依りて成らざるものとてはなく、其の熱望隆々として四隣を壓するに至れるも故ありとすべし氏また明治十八年上池田消防組開設の當時より消防に干はり、明治二十二年府政施行と共に公設消防組の設置せられるや推されて小頭となり、組頭荒木種松氏を補佐して年あり、其の後四十三年組頭に任じ大正七年一月組頭を辭して消防組より勇退するに至れる迄の間、三十有餘年の長き星霜に互り一意専念消防の天職に對して忠實精勵、時に或ひは寒冷透徹の深更數里を馳せて防火に赴き或る時は亦猪名川氾濫して水害に際するや身命を賭して災禍無きを期し、炎夏冷冬の二六時中常に危急の難に赴いて公事の爲めに盡瘁し寧日なきの觀ありき。其の部下の督勵に際しては慈愛寛容の態度を以てし恒に私財を抛つて勞を精らひ、或ひは鞭撻したるを以て輩下の衆みな其の徳を欣慕し氏を慈父の如く敬仰するに至れり。され

ば其の組頭を儲するに至るや池田町役場よりは金盃一箇時の警察署長金崎茂雄氏よりは大阪府警察本部を代表して木杯一組、元新町有志よりは銀製花瓶一箇を各贈呈し多年池田消防組の爲めに盡せる氏の功勞を厚く表彰せり。氏の榮譽たるや又大に頌せざるべからず。氏更に元新町共同組の幹事として永年公共の爲めに戮力せる功績没すべからず、乃ち大正四年銀盃一箇を贈られて其の勞に報ひらる。資性敦厚にして誠實、仁俠の氣に富み亦公共の觀念強し。氏の嗣子常次郎氏は營業管理の衝に當り設計及び建築材料買入を擔當して克く父業を扶く。工業學校出身の敬曉家にして學識に富み出監の譽れ高し。



谷東常太郎 氏

氏は本籍を池田北新町に有し對岸川西村寺畑に假寓す。明治廿七年現在鐵道省福知山線が攝津鐵道株式會社當時既に夙く池田驛前にて運送業を起し當地斯界の先鞭をつけたり。當時運送業は鐵道關係者にあらずんば營業し能はざりしも氏は幾多の係争を重ねて遂に其の目的を達するに至りしものなり。公共の念に厚く常に愛世慨時、衆に先ちて公事の爲めに奔走し温席の暇なき觀あり。四十二年箕有電鐵敷設に際し池田停留所設置當時頑迷なる一部地主の横暴事勃發するや氏は町發展上之れを遺憾とし町民大旨を闡きて其の不當を鳴らし遂に地主の横暴事を抑制して無事解決し今日の發展を見るに至らしめたるも實に氏なりき、現在池田町山林委員の外二三會社の重役を兼ね川西村

小戸に二箇所の製材事業を經營し衆望敦厚たり。

稻束芝馬太郎氏

氏の五代の祖稻束太忠氏は書齋の造詣淺からず名品佳什を蒐めて代々傳えしかば、氏亦よく其の衣鉢を繼ぎ斯業の該博なる鑑定眼を有し其の珍藏する處のもの數千幅に及び悉く稀觀の逸品珍籍を以て充たされ好事者垂涎の的たり。他の同志と池田史談會を起し郷土史蹟の研覈に没頭し貢獻する處少なからず、隱栖の郷土史家として既に一家を爲し令聞高し。家業は農、居宅は仲之町に在り。



氏は岡山縣和氣郡美保村に生る。明治三十七年七月大阪府巡查を拜命し同年十月池田警察署詰を命せられ同署細河村巡查駐在所詰となり大正三年一月池田署刑事事務を被命、敏腕達識の聞え頗る高し。爾來十七年の久しきに亙り恒に不眠不休の活動を續けて其の天職を完了し功績頗る顯著なるものありしが、豫て實業に志あり九年十一月巡查部長に補せられて恩給の下賜を受け遂に依願退職し轉じて吳服檢商事株式會社に入り信託部及び證券部の一部を任して今日に及ぶ。資性温厚篤實、よく交はりて障壁を設けず後輩の誘掖に懇切を盡す。今や素志の實業界に入りて將來益々斯界に雄飛せんとし鬱勃たる霸氣を所藏して活躍しつゝあり。

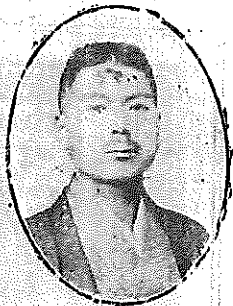


樽詰 桐正宗發賣元
釀造元

池田米屋町

北村伊三郎

電話池田四番



廣末良太郎氏

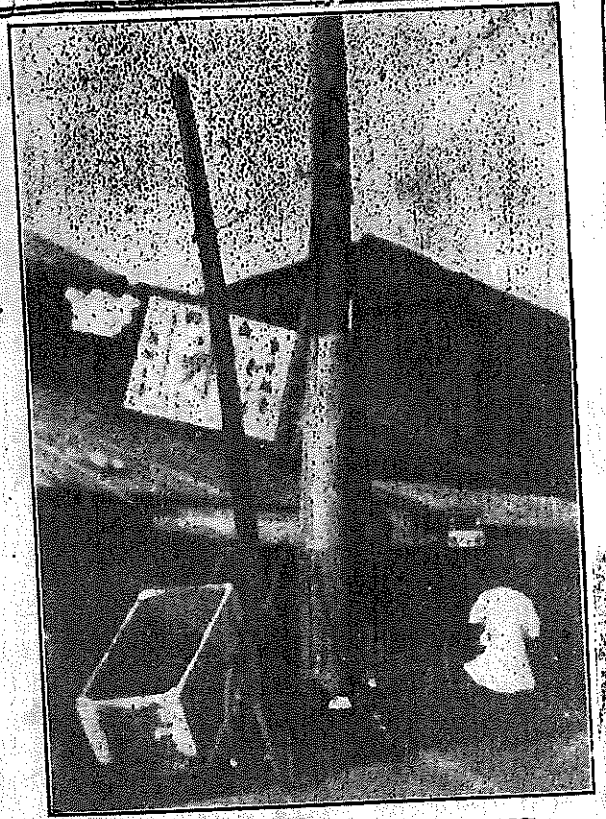
廣末良太郎氏は俳名を清月と號し眞榮會社中の生花抹茶の宗匠として其の聲名近郷に知らる。十七歳の時既に師事して斯道の蘊奥を究め其の始め正風遠州流としての流れを汲みしも後自ら一派を爲して遠真流と改め多數の門弟を薰育し居れり。又軍籍にあり池田在郷軍人分會の要職に就きて郷黨公共の爲めに盡す。

藤岡啓藏氏

其の有望なる事を認められ懇請を容れて帝國鑛泉株式會社に（時價拾萬圓の價値あり極なふ）買却せり。現今に於いては亦大阪府泉南郡の地に天然炭酸瓦斯の湧出地を發見し之れ亦極めて有望なるを以て探炭工事中。

松下彦三郎氏

中之町區長松下彦三郎氏は明治八年十二月十日の生れ、嘗て池田町收入役及び書記、池田耕地整理組合書記たりし事あり又本郡北豊島村役場書記に勤務したる事もあり町村政の爲めに盡したる功績没すべからず。本年十月民力涵養共勵委員の囑託を受け民福事業の目的達成に力を注ぎつゝあり。稟性温厚にして誠實、郷黨の信望敦し。



年中在品、卸小賣、配達迅速

龍池 紋興 氷製 株式會社 特約 店賣
 氷 問 屋
 荒堀之宇松商店
 (池田之西口吳服橋東詰)

建築ペンキ塗請負
 美術看板製作
 古家あくあらひ
 廣告看板製作貼付

共進社

池田槻木町

中西塗工部

主任 中西石松



貴女が生命たる其美容を遺憾なく寫し出す

現像焼付
 機械材料

松平寫真館

池田西之口(壽命寺前通り)

美しさ肌の色！
 輝く瞳！
 愛らしき唇！

諸印章

ゴム印

カレンダー

名刺印刷

池田林口町(託明寺前)

河西支店

店主河西秀太郎

美術印刷

池田南新町

活版石版

木田盛進社印刷所

帳簿製造

所主 木田嘉藏

字治銘茶 池田町北之四

并ニ

茶器類種々

清水茶舗

確實古本買入

書籍雜誌本

商楠原書店

池田北之口

御報参上ス

セト
モ

池田仲之町

源
新田兵太郎商店

人力帳場



池田仲之町

長田組

電話一二八番

阪急池田停留場前線路南

林口廉賣所

長田帳場支店
丸惣生魚店

營業
目錄

金 錢 貸 付 業
不 動 產 買 及 仲 介
有 價 證 券 賣 買
不 動 產 ノ 管 理
凡 テ 信 託 業 一 切

池田米山之口町

大正八年
創業



共 榮 商 行

無限責任
代表社員

川邊隼之助

電信略號(カ)又ハ(カワ)

本 宅 兵庫縣川邊郡六瀬村木間生

今大長

ヤクシマエとうふや

山川量儀

池田西之口壽命寺前

金銀時計
蓄音機盤板
めがね指輪
貴金屬類
式一繕修

池田元新町

谷時計店

店主 谷喜一

學校用品
文房具種々

森田文具部

新案
特許 大和服北一手販賣

池田本町(役場前)

店主 森田新三郎

建築
器具師

森田春秋堂

明治拾四年創業

諸印章ゴム印

諸紙帳簿文房具

引札カレンダー

扇子團扇製造

諸官衙銀行會社

達用

中道印房

池田北新町

書籍、雜誌、文房具

教育樂器、運動具

寫真機、トランプ

繪葉書、かるた、骨牌

國定教科圖書特約大販賣所

陸地測量部地圖販賣代理店

池田元新町

鹽川豊翠館

電話五八番

賜宮内省御買上之榮

宇治銘茶販賣

銅器物

白目引

うち直し

銅器製作品

一式販賣

並ニ修繕

あかなべや

渡邊商店

店主 渡邊伊之助

池田甲ヶ谷町

官許 大人はりやいと

池田南新町

松月堂 藤井鍼灸療院

院主 藤井 正一

最も新しき流行品を常に陳列して
皆さんの御來觀を待つてゐますから
是非一度は御立寄り下さい

池田元新町

横田雜貨店

洋傘
帽子
肩掛

◎良品廉賣……顧客本位

建築請負業

松

榮

組

自宅 川邊郡川西村萩原

松榮組工務所

川邊郡川西村松原

兵庫縣川邊郡川西村

中島ゴム製造所

和洋建具製造業

池田仲之町

さ

し

定

奥村定次郎